

令和2（2020）年度 第2回 水工学委員会および幹事会 議事録

日 時：令和元年11月4日（月）16:55～18:50

場 所：ZOOM

出席者：清水義彦，二瓶泰雄，鼎 信次郎，赤松良久，朝田 将，浅沼 順，天野光歩，泉 典洋，石徹白伸也，入江政安，内田龍彦，梅田 信，大石 哲，小原一哉，風間 聡，片山直哉，川越清樹，川村里実，佐藤隆宏，佐山敬洋，重枝未玲，杉原裕司，武田 誠，竹林洋史，立川康人，田中賢治，田中茂信，田中規夫，谷口健司，田端幸輔，田村浩敏，知花武佳，椿 涼太，手計太一，戸田祐嗣，中山恵介，藤原賢也，堀 智晴，溝口敦子，宮本仁志，三輪 浩，芳村 圭，萬矢敦啓，矢野真一郎，山田朋人，吉田圭介
中北英一（顧問），山田 正（顧問）

欠席者：炭田英俊，諏訪義雄，森脇 亮，横山勝英

記録者：片山直哉

（以上、敬称略）

0. 清水委員長挨拶

- ・議事に先立ち、清水委員長より挨拶があった。

《報告事項》

1. 令和2年度水工学委員会構成

資料1

- ・二瓶幹事長より、今年度の水工学委員会の構成及び新メンバーについて説明があった。
- ・新メンバー（田村委員，朝田委員）より挨拶があった。

2. 令和2年度水工学論文集編集作業

資料2

- ・鼎編集幹事長より、論文投稿数・採択数等について説明があった。
- ・ほぼ例年どおりの投稿数・採択数であった。
- ・分野別では「水災害・防災・減災」への投稿数が増加傾向にある。査読対応を考慮すると、この分野を分割する等の何らかの対応が必要であることから、今後の検討課題とする。
- ・Best International Paper Awardの受賞者決定の報告があった。

3. 部会・小委員会・関連委員会の活動報告及び活動計画

- 部 会：水文部会（田中賢委員，なし），河川部会（田村委員，資料3-1），基礎水理部会（杉原委員，口頭），環境水理部会（矢野委員，資料3-2）
- 小委員会：水害対策小委員会（田中茂委員，資料3-3），ISO/TC113小委員会（萬矢委員，なし），流量観測高度化小委員会（椿委員，資料3-4），グローバル気候変動適応研究推進小委員会（中山委員，資料3-5），河道管理小委員会（田中規委員，資料3-6）
- 関連委員会：CommonMP（風間委員，なし），流域管理と地域計画の連携（立川委員，資料3-7），河川懇談会（道奥顧問，なし），海岸工学委員会（入江委員，資料3-8），IAHR Japan Chapter（田中規委員，なし），水理公式集例題集編集小委員会（泉委員，資料3-9）
- WG：オンラインWG（溝口委員，資料3-10）

- ・各部会長，小委員長，関連委員から，各部会，各小委員会，関連委員会，WGの活動報告と今年度の予定に関して説明があった。詳細は資料のとおりである。
- ・椿委員より，「流量観測高度化研究小委員会」の名称変更の提案があり，新名称「河川観測高度化研究小委員会」が承認された。

4. 令和2年度の年間スケジュール

資料4

- ・二瓶幹事長より年間スケジュールについて説明があった。

5. その他

資料5

- ・ 椿委員より, 12th International Symposium on Ecohydraulics (ISE 2018)から水工学委員会に寄付金があったことが報告された.
- ・ 二瓶幹事長より, Journal of Ecohydraulicsに水工学委員会からの多くの投稿を期待するとの浅枝先生からの言葉が紹介された.

《協議事項》

1. 令和3年度第65回水工学論文集編集作業

協議資料1

- ・ 鼎編集幹事長より, 次回の編集作業スケジュールについて説明があり, 論文投稿開始が2021年5月初旬, 投稿締切が同年5月31日, とすることが承認された.
- ・ 水工学講演会開催が12月であることを考慮し, 最初の査読期間を1ヵ月程度延長できないかとの意見があった.
- ・ 今回挙がった意見については, 次期執行部の検討課題とする.

2. 新顧問の推薦

- ・ 清水委員長より, 新顧問に前水工学委員会委員長の清水康行先生を推薦するとの報告があり, 承認された.

3. 令和2年度水工学委員会の予算

協議資料2

- ・ 二瓶幹事長より, 今年度予算の収入と支出について説明があった.
- ・ 収入に対して, 現時点での支出はオンライン連続講演会関係 (3万円程度) のみである.
- ・ 拡充支援金については, 現在繰越を希望するかの調査が来ている. 繰越が可能であれば, 全額繰越することで承認された.
- ・ 年度末までの予算となるので, 各部会, 小委員会で支出希望があるのであれば, 早めに幹事長に連絡するようアナウンスがあった.
- ・ 今後増加すると予想されるハイブリッド講演会に必要な器材へ支出するとの意見があり, 今後の検討課題とする.

《次期水工学委員会委員長選挙》

- ・ 選挙の結果, 次期水工学委員長に立川康人先生が選出された.

以上